

小学校第4学年音楽科学習指導案

指導者 小森 司

1 題材名 曲のつくりを気付けてきいてみよう

2 題材の目標

二つの旋律の違いを感じ取り、曲のつくり（楽曲の構造）に気付けて聴く。

3 主な〔共通事項〕

ア (ア) 旋律 (イ) 反復、問いと答え、変化、クライマックス

イ 八分音符、十六分音符、グリッサンド、スタッカート、レガート

4 題材設定の意図

本題材では、楽曲に合わせて体を動かす活動に取り組んだり、色楽譜を用いて曲のつくり（楽曲の構造）を視覚的にとらえながらワークシートに記入したりするなかで、二つの旋律の違いを感じ取り、楽曲の構造に気付けて聴くことができる能力を育てることをねらいとしている。

そのために、楽曲の構造や音楽を形づくっている要素が分かりやすい「剣の舞」を鑑賞教材に選択し、剣カードを用いて、楽曲に合わせて体を動かすことで、二つの旋律のまとまり（「Aのまとまり」、「Bのまとまり」）にはリズムの違いがあることに気付くことができるようにする。さらに、「Aのまとまり」と「Bのまとまり」を色楽譜で分け、それぞれが登場する順番通りにカードを並べることで、A-B-A'の三部形式になっていることを理解できるようにする。あわせて、児童には、楽曲の構造を親しみやすく「曲のつくり」と示し、Aでは反復及び問いと答え、Bでは変化、A'では反復及びクライマックスが仕組まれていることに気付けて鑑賞させたい。そして、「Aのまとまり」と「Bのまとまり」を聴いて感じ取ったことをワークシートにまとめて、グループで伝え合うことで、本題材の目標に迫るようにしたい。

5 教材について

「剣の舞」は、ハチャトゥリアンがバレエ音楽「ガイーン」のために作曲した曲で、演奏会用組曲に抜粋された有名な曲である。楽曲は大きくA-B-A'のまとまりで構成されている。

「Aのまとまり」の旋律は打楽器の激しいリズムに乗って木管楽器とホルン、木琴が担当する。同音が連続する躍動的な旋律になっている。それに合いの手を入れるようにトロンボーングリッサンドが入る。

「Bのまとまり」の旋律はアルト・サクソフォーンとチェロが担当する。五音音階で作曲された寂しい印象の旋律にフルートのオブリガードが入る。

上記の二つの旋律A及びBが登場する三部形式で作曲されており、本題材が目指す児童の姿を達成するために適した教材であると考えられる。

6 題材の評価規準及び学習活動における具体的評価規準

	ア 音楽への関心・意欲・態度	エ 鑑賞の能力
歌 唱		
器 楽		
創 作		
鑑 賞	○	○
題 材 評 価 の 規 準	二つの旋律の違いを感じ取り，楽曲の構造に気を付けて聴くことに意欲的である。	二つの旋律の違いを感じ取り，楽曲の構造に気を付けて聴いている。
学 習 具 体 活 動 の 動 評 価 お 規 け 準	①楽曲に合わせて体を動かす活動において，二つの旋律の違いを感じ取り，楽曲の構造に気を付けて聴くことに意欲的である。	①「Aのまとまり」と「Bのまとまり」のそれぞれの特徴を，自分なりの価値をもって体を動かしたり言葉でワークシートにまとめたりして，楽曲の構造に気を付けて聴いている。

7 学習と評価の計画（2時間扱い）

時	ね ら い	主 な 学 習 活 動	具体的評価規準
① 本時	二つの旋律の違いを感じ取り，楽曲の構造に気を付けて聴くことに興味をもつ。	<ul style="list-style-type: none"> ・「剣カード」を用意し，楽曲のリズムに合わせて体を動かす活動に取り組む。 ・「Aのまとまり」，「Bのまとまり」を色楽譜で分け，並べることでA-B-A'の三部形式に気付き，楽曲の構造を確認する。 ・「Aのまとまり」，「Bのまとまり」を聴いて感じ取ったことをワークシートにまとめる。 	アー①
2	二つの旋律の違いを感じ取り，曲のつくり（楽曲の構造）に気を付けて聴く。	<ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに，「つるぎのまい」の二つの旋律の違いを体を動かして表す活動を行う。 ・まとめの鑑賞をし，鑑賞文を書く。 	エー①

8 本時の学習

(1) ねらい

二つの旋律の違いを感じ取り，曲のつくり（楽曲の構造）に気を付けて聴く。

(2) 準備・資料

ステレオ，鑑賞用CD，色楽譜，剣カード，ワークシート，DVDプレーヤー，鑑賞用DVDソフト

(3) 学習の展開

学習内容と主な学習活動	教師の働きかけ(◆学習活動における具体的評価規準)
<p>1 本時の学習課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>曲のつくりに気を付けてきいてみよう。</p> </div> <p>2 二つの旋律の違いを感じ取る。</p> <p>(1) 旋律Aを「Aのまとまり」(赤), 旋律Bを「Bのまとまり」(青)の色楽譜として示し, 音楽を聴きながら確認する。</p> <p>(2) 音楽に合わせて, 二つの旋律の違いを体を動かしてみる。</p> <p>(3) なぜそのような動きにしたのかを思い出しながら, 二つの旋律の違いをAとBに分けてワークシートに言葉で記入し, 発表する。</p> <p>3 曲のつくり(楽曲の構造)を理解する。</p> <p>(1) 曲を聴きながら, 色楽譜を貼り付けたワークシートを用いて曲のつくりをつかむ。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>A→ くりかえし 問いと答え</p> <p>B→ 変化</p> <p>A' →くりかえし クライマックス</p> </div> <p>(2) オーケストラが演奏している様子をDVDで鑑賞する。</p> <p>4 本時のまとめをする。</p> <p>(1) 再度, 各自で楽曲に合わせて体を動かす活動をする。</p> <p>(2) 次時の活動の予告をする。</p>	<p>・本時の学習では二つの旋律の違いに注目し, 楽曲の構造に気を付けて聴くことを伝え, 児童の意識を高める。</p> <p>・主な旋律Aを赤, 主な旋律Bを青の色楽譜のカードに置き換え, 確認しながら繰り返し鑑賞する。</p> <p>・初めに聴こえてきた旋律と, 次に聴こえてきた旋律を児童に発表させ, 楽曲の構造(A-B-A'の三部形式)を理解できるようにする。</p> <p>・ワークシートに色楽譜をA-B-A'の順番に確認しながら貼るように助言する。</p> <p>・一人一人に「剣カード」持たせ, 二つの旋律の違いに注目させながら, 体を動かす活動に取り組めるようにする。</p> <p>・二つの旋律の違いについて, 児童が言葉で表したことを, 教師が板書用の拡大ワークシートに整理していく。</p> <p>・楽曲をA-B-A'に区切りながら鑑賞し, 曲のつくりを音楽で確認しながらワークシートにまとめていくようにする。</p> <p>・曲のつくりに気を付けて聴きながら, 二つの旋律の感じ取りを一層深めるよう, ワークシートに記入したことを発表させ, 学級全体で共有させていく。</p> <p>・本時の学習のまとめとして, オーケストラが実際に演奏している様子をDVDで鑑賞する。</p> <p>◆楽曲に合わせて体を動かす活動において, 二つの旋律の違いを感じ取り, 楽曲の構造に気を付けて聴くことに意欲的である。ア-① (観察)</p> <p>・次時は, グループごとに体を動かす活動に取り組むことを伝え, 児童の意欲を高める。</p>